

北信大会開催要項（学童の部のみ抜粋）

（はじめに）

本開催要項は、北信大会における取決め事項を記した「北信大会開催要項」のうち、一部学童に関する主要部分のみを抜粋したものである。したがって記載のない事項等は、公認野球規則及び競技者必携、北信大会開催要項（全文）を適用する。

1 公式大会開催要項

(1) チーム構成（大会でベンチに入ることのできる人員）

① 試合出場選手は 10 名以上 25 名以内

② 背番号：監督 30 コーチ 28・29（2 名以内、成人とする。）

主将 10 選手 0～99（00 は不可）

③ その他

- ・ チーム責任者（引率責任者で成人であること）・・・・・・・・・・1 名
- ・ マネージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 名
- ・ スコアラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 名
- ・ トレーナー（有資格者）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 名

(2) 各北信大会の出場チーム数等は、次のとおりとする

○ 高円宮賜杯全日本学童（春季）

① 出場チーム数

各支部登録チームによるトーナメント戦にて代表の 4 チームを決定する。各ブロックのベスト 4（大会全体ベスト 16＝2 次予選）からは「北信大会」とする。

② 抽選会…各支部総会にて参加チームを確認し、後日改めて抽選会を行う。

○ 長野県学童選手権（秋季）

① 出場チーム数は、高円宮賜杯全日本学童と同じ。春季大会に出場の成績上位 4 チーム（同成績の場合は、得失点差を考慮）からシード権を与える。

② トーナメント戦とし、北信代表は 1 チーム

(3) 試 合

ア 参加人員

① 学童については、選手 10 名以上 25 名以内とする。

② 試合開始整列時に 9 名の場合は、棄権扱いとする。 (10 名以上)

③ 態勢が整っているときは、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。

（打順表の提出時に説明する。）

イ 集合時刻 **※開会式は行いません**

試合開始予定時刻 **60 分前までに会場に到着し、本部に届け出ること。**

ウ 試合開始時刻

8 時 30 分からとする。

注：都合により、試合開始時刻を変更することがある。この場合は、その都度連絡する。

エ 回 数

試合は、**6 回戦**とする。

★ 道具ヤコウ
(バット・グローブ
グローブ)

オ 試合時間

- ① 試合時間を 1 時間 30 分 とする。
- ② 1 時間 30 分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。
- ③ 1 時間 30 分を越えて同点の場合は、次項「カ 延長戦」を適用する。
- ④ 試合が著しく遅延した場合等は、状況により、試合時間を 1 時間 20 分にすることがある。
この場合は、試合開始前に説明する。

カ 延長戦

- ③ 6 回を完了し同点の場合、または、試合開始後 1 時間 30 分を経過以降の均等回完了時に同点の場合は、延長戦を行わずタイブレーク方式により勝敗を決する。

キ 正式試合

5 回終了時とする。

ただし、正式試合とならないとき（得点差に関係なく）及び 5 回以降得点差がなく、降雨・日没等で、当日の試合続行が不可能な場合は、翌日等に特別継続試合とする。

（再試合は行わない。）

ク 得点差によるコールドゲーム

4 回 10 点差、5 回以降 7 点差とする。

- ケ 外野フェンスのない球場の場合は、ホームランラインを引く。直接ラインを越えた場合は、本塁打とする。ゴロでラインを越えた場合は、ボールデットとし二塁打とする。

2 競技運営等

(1) 打順表の提出

ア 当日、その試合に出場が見込まれる選手

（試合に来るであろうと思われる選手を含めて 25 名以内）を打順表に記載して、監督又は主将が本部に提出する。（試合開始整列時、10 名以上）

イ 提出時期（打順表が出来上がった時点での提出を推奨する）

- ① 当日の 第 1 試合は、試合開始予定時刻の 30 分前
- ② 第 2 試合以降は、3 回終了時（打順表が出来上がった時点での提出を推奨する） ← コレ

ウ その他

- ① 試合開始後、遅れてベンチ入りした場合は、球審又は本部にその旨通知すること。
- ② 打順表は、5 枚複写とする。（チーム…2 枚、本部…1 枚、球審…1 枚、控審判…1 枚）

(3) 競技運営に関する取り決め事項

ア 次の事項については、北信連合会理事長（代行…副理事長）、同審判技術部長（代行…副審判技術部長）および必要に応じ、北信連合会会長並びに主管支部理事長と協議を行う。

- ① 試合時間の遅延
- ② 降雨及び日没等による中断の再開及び特別継続試合
- ③ 内野手間の転送球の必要性
- ④ 試合日程及び天候等の理由による回数の変更（代表決定戦）
- ⑤ その他（クーリングタイムの設定等）

イ 投手の投球練習

先発バッテリーのみ 3 回打順表交換終了後、投球練習を認める。

ウ その日の第 1 試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。その際、アップ用の服装（同一が望ましい）でもよいが、攻守が決定した時点にはユニフォームに着替える

こと。ただし、北信大会に限り、降雨及び特に寒い日は、別途指示する。

エ 試合前のノック練習は、サイドノック及び外野サブノックの実施を認める。 ^球
→ ノッカーにボールを手渡す選手、又は野手からの送球をノッカー付近で補給する選手及び
外野手からの送球を補助する選手（中継者は、ヘルメットを着用すること）

オ 私服の者（チーム責任者、マネージャー、スコアラー）は、グラウンド内に出ることを 禁
止する。（ユニフォームに背番号のない者も含む。） ^{7:17時} ^{28.29.30は外はOK!!}
マネージャー及びスコアラーは、運動のできる服装でベンチに入ること。 ^{厳禁注意。チーム内で共有}
^{すよコレ。}

カ プレーヤー（監督・コーチを含む）のサングラス着用について使用を認めるが野球選手
らしいサングラスとすること。（投手の偏光グラスは使用を認める）

ク 競技場内のブルペン等でウォームアップを行う際の人数制限について
試合中、ベンチ前のキャッチボールを禁止するが、ブルペン等ファールグラウンドでウォ
ームアップを行う場合は、人数を4名（2組）以内に制限する。
（投球練習時、捕手は保護防具を必ず着用すること。）

ケ 登録外の者（ユニフォームを着用していない者）がサインを出す行為について
試合中、ベンチに入ることが許されたメンバーであれば、ベンチ内においては誰がサイン
を出してもよいものとする。

コ 投球制限について

① 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、70球/日（4年生以下は60球/
日）、一週間の投球数210球/週（4年生以下180球/週）とし、試合中規定投球数に達した
場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

② 投球数の管理は、大会本部が行う。

3 その他

(1) 競技会において、不正を行ったチーム及び暴力等の行為を行った者に対しては、「長野県軟
式野球連盟規約・規程集」に記された規程等を参考に、北信連合会会長が招集する会議に諮り
措置する。なお、会議は、北信連合会会長、同理事長、同副理事長、同事務局長、同審判技術
部長及び当該主管支部長および審判技術部長で構成する。

(2) 競技会の運営（降雨等による試合日時及び会場の変更）に関する事項については、北信連合
会理事長が当該主管支部と連絡をとりながら、その都度指示するものとする。

(3) 降雨等による試合日程及び会場変更については、最善の方策を尽くすこととするが、なお、
上位大会の日程に照らして、北信代表チームを決めることが困難な場合は、抽選によってこれ
を決定する。この場合、北信連合会理事長は、関係者に十分な説明を行い、混乱が生じないよ
うに努めなければならない。

<11-11訂正>

。来年度、同一試合でピッチャー、キャッチャーの交代できなくする。

。2029年から、クレタムバット禁止。
(新しいバット出さず)

※野球ネットの登録を。
(~4/30までに完了)
追加登録は5/31まで
1人100円頂戴。